

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

P

ラップ／スプリットメモリー

2155 * JA

取扱説明書

2155

このたびは弊社製品をお買い上げくださりまして、誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に傷害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでおためしください。

■ 本機の特長

- ラップ／スプリットメモリー
- ワールドタイム機能
- ツインタイマー機能
- 5本のアラーム機能
- オートELバックライト機能

安全上のご注意

絵表示について この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



危険

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例



△ 記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。
(左の例は感電注意)



⊘ 記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。
(左の例は分解禁止)



● 記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。
(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

⚠ 警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠ 注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
 - ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
 - ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
 - 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
 - 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

⚠ 注意

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



オートライト作動時のご使用について

登山やハイキングなどで、暗く足元の不安定な場所で、歩きながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒やけがの原因となることがあります。

夜間、道路でマラソンやジョギングをしながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

夜間、自転車やバイクなどを運転しながら時計を見ることは危険ですのでおやめください。転倒、交通事故の原因となることがあります。

オートライト作動状態のとき、本機を腕につけて自動車などを運転すると、不用意にライトが点灯し、運転の妨げになり危険ですのでおやめください。交通事故の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてお使いください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

目次

安全上のご注意

操作のしくみと表示の見方 6

表示照明用 EL バックライトについて 8

ボタンを押して発光させる 8

時計を傾けて発光させる 8

ワールドタイム機能の使い方 10

都市のサーチ 10

サマータイムの設定/解除 10

ワールドタイム都市コード一覧 11

ストップウォッチの使い方 12

表示の見方 12

ラップ・スプリットメモリー 12

計測のしかた 13

メモリーしたデータを見る 14

タイマーの使い方 15

計測の種類 15

計測のしかた 15

タイマー時間のセット 16

アラームの使い方 17

アラーム時刻のセット 17

デモアラーム 18

アラーム・時報のオン/オフ 18

時刻・カレンダーの合わせ方 19

秒の合わせ方 19

時刻・カレンダーの合わせ方 20

製品仕様 22

ご使用上の注意 23

お手入れについて 25

電池交換について 25

操作のしくみと表示の見方

ワールドタイムモード

都市コード

約2秒後

現在時刻
② (都市サーチ)

モードマーク 選択都市の標準時

P-10

時刻モード

午後マーク (午前は不点灯) 月・日 曜日

① ボタン ② ボタン ③ ボタン

グラフ表示 時・分・秒

都市コード

★都市コード表示
他のモードから時刻モードに戻したときに、約0.5秒間時刻モードで表示される時刻の都市コードを表示します。
※都市コード名については11ページをご覧ください。

★グラフ表示
グラフ表示は秒に連動して点灯/不点灯を繰り返します。

P-11

◎ ボタンを押すごとにモードが切り替わります。

※ストップウォッチモード以外でボタン操作をした後◎ ボタンを押すと、直接時刻モードに戻ります。

ストップウォッチモード

約2秒後

モードマーク

P-12

リコールモード

約2秒後

モードマーク

P-14

アラームモード

約2秒後

モードマーク

P-17

タイマーモード

約2秒後

モードマーク

P-15

表示照明用 EL バックライトについて

本機の表示部にはELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）が内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、時計を傾けると文字板が発光するオートライト機能もあります。

■ ボタンを押して発光させる

～手動発光～

① ボタンを押します

アラームモード以外で①ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



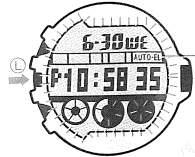
※オートライトOFFのときも①ボタンを押すと発光します。

■ 時計を傾けて発光させる

～オートライト機能～

オートライトは、ボタンを押さなくても文字板が発光する便利な機能です。暗い場所で、時刻などを見るときに大変便利です。オートライト機能では、どのモードのときでも、時計を傾げるだけで文字板が約2秒間発光します。

準備
時刻モードのとき①ボタンを1～2秒間押し続けて、オートライトONにします。



オートライトONマーク

※オートライトONのとき、①ボタンを1～2秒間押し続けるとオートライトOFFに戻ります。
※オートライトON/OFF設定は、時刻モードのときのみ行なえます。

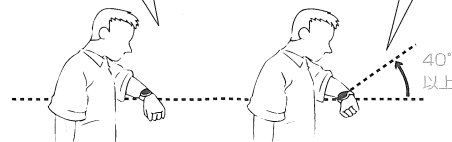
● 文字板を発光させる

①

時計を腕にはめ、水平にします

②

水平状態から、表示が見えるように約40°傾けます



※オートライト機能を使用するときには、時計を「手首の外側」にくるようにつけてください。

※文字板の左右（3時～9時方向）の角度を±15°以内にしておいてください。15°以上傾いていると発光しにくくなります。



〈EL 発光についてのご注意〉

- 直射日光下では発光が見えにくくなります。
- 発光中にアラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

〈オートライトご使用時の注意〉

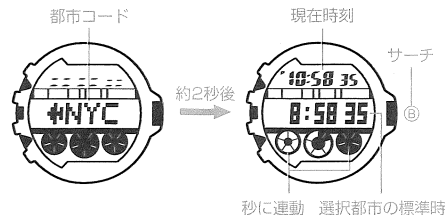
- オートライトが作動するのは、ONにしてから約6時間です。それ以降は電池消耗防止のため、自動的にオートライトOFFになります。
- ※引き続きオートライトを作動させたいときは、再度①ボタンを1～2秒間押し続けてONにしてください。ただし、オートライトを頻繁に使用すると電池寿命が短くなりますのでご注意ください。（22ページ「製品仕様」参照）
- 時計を傾けたとき、文字板の発光が一瞬遅れることがあります。異常ではありません。
- 文字板発光後、時計を傾けたままにしていても、発光は約2秒間のみとなります。
- 時計を「手首の内側」につけていたり、腕を振ったり、腕を上にあげたりしても発光することがあります。オートライトを使用しないときは必ずOFFにしておいてください。
- ※時計を「手首の内側」につけるときはできるだけオートライトをOFFにしてご使用ください。
- 静電気や磁気などでオートライトが動作しにくくなり、発光しないことがあります。このときはもう一度水平状態から傾けなおしてみてください。なお、それでも発光しにくいときは、腕を下からふりあげてみると発光しやすくなります。

ワールドタイム機能の使い方

時刻モードのときに、**ⓐ** ボタンを押してワールドタイムモードに切り替えます。
ワールドタイムは世界 27 都市 (29 タイムゾーン) の時刻を簡単に知ることができます。

■ 都市のサーチ

- ワールドタイムモードに切り替えると、前回このモードで最後に見た都市の標準時を表示します。
- ⓐ** ボタンを押すごとに都市コードが進み、選択都市の標準時を表示します。
※**ⓐ** ボタンを押し続けると、早送りができます。



選択都市の標準時が違っているときは、時刻モードの時刻および都市選択を確認し、違っているときは正しくセットしてください。

※セットについては 20 ページをご覧ください。

■ サマータイムの設定/解除

サマータイムは各都市ごとに設定できます。

ⓐ ボタンを約 2 秒間押し続けます

→ DST マークが点灯し、1 時間進みます。

※サマータイムを解除するには、もう一度 **ⓐ** ボタンを押し続けます。



サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。
サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

■ ワールドタイム都市コード一覧

都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市	都市コード	都市名	時差	同一標準時の他の都市
---	---	-11	バゴバゴ	CAI	カイロ	+2	アテネ、ヘルシンキ、 バイルート
HNL	ホノルル	-10	パペーテ	JRS	エルサレム	+3	クウェート
ANC	アンカレジ	-9	ノーム	JED	ジッダ	+3.5	
LAX	ロサンゼルス	-8	サンフランシスコ、 ラスベガス、シアトル	THR	テヘラン	+4	アブダビ
DEN	デンバー	-7	エルパソ、エドモントン	DXB	ドバイ	+4.5	
CHI	シカゴ	-6	ヒューストン、ダラス、 メキシコシティ	KHI	カラチ	+5	
NYC	ニューヨーク	-5	モントリオール、 マイアミ、ボストン	DEL	デリー	+5.5	
CCS	カラカス	-4	サンティアゴ	DAC	ダッカ	+6	
RIO	リオデジャネイロ	-3	サンパウロ、 ブエノスアイレス	RGN	ヤンゴン	+6.5	
---	---	-2		BKK	バンコク	+7	ジャカルタ、ハノイ
---	---	-1	アゾレス諸島	HKG	香港	+8	シンガポール、 クアラルンプール、 北京、台北、マニラ
GMT		±0	〈グリニッジ標準時〉	TYO	東京	+9.5	ソウル、平壤
LON	ロンドン	±0	ダブリン	ADL	アデレード	+9	
PAR	パリ	+1	ローマ、マドリード、 フランクフルト	SYD	シドニー	+10	グアム
				NOU	ヌーメア	+11	ポートビラ
				WLG	ウェリントン	+12	クライストチャーチ

※この表は1998年6月現在作成のものです。

※時差はグリニッジ標準時 (世界協定時: GMT) を基準としたものです。

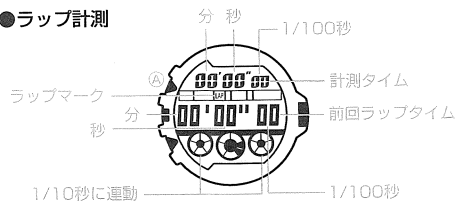
ストップウォッチの使い方

計測はストップウォッチモードで、メモリーしたデータの呼び出しはリコールモードで行ないます。

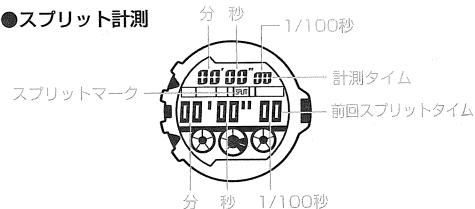
表示の見方

Ⓐボタンを押すごとにラップ計測とスプリット計測が切り替わります。

●ラップ計測



●スプリット計測



●ラップ・スプリットメモリー

ラップタイムとスプリットタイムの計測ができ、最大30本までメモリーします。

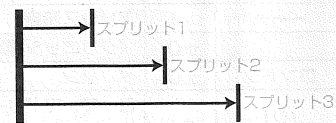
〈ラップタイムとは〉

陸上・モータースポーツなどでは、周回コースの1周ごとのタイムのことです。



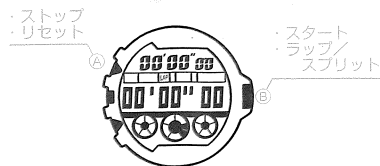
〈スプリットタイムとは〉

陸上・モータースポーツなどでは、1周目までのタイム、2周目までのタイム…のように、計測時点までの積算タイムのことです。



■計測のしかた

- Ⓐボタンを押すと計測がスタートします。
- 計測中に Ⓐボタンを押すとラップタイムまたはスプリットタイムを表示します。
※ラップタイムとスプリットタイムをメモリーします。
- 計測中に Ⓑボタンを押すと計測がストップします。
- 計測がストップしているときに Ⓑボタンを押すと、リセットされます。



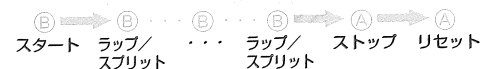
計測単位 = 1/100 秒
計測範囲 = 59分59秒99 (60分計)
※計測時間がこの計測範囲を越えると、以後0に戻って計測を続けます。

●通常の計測



積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに Ⓐボタンを押して再スタートすれば、表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●ラップ・スプリットタイム計測



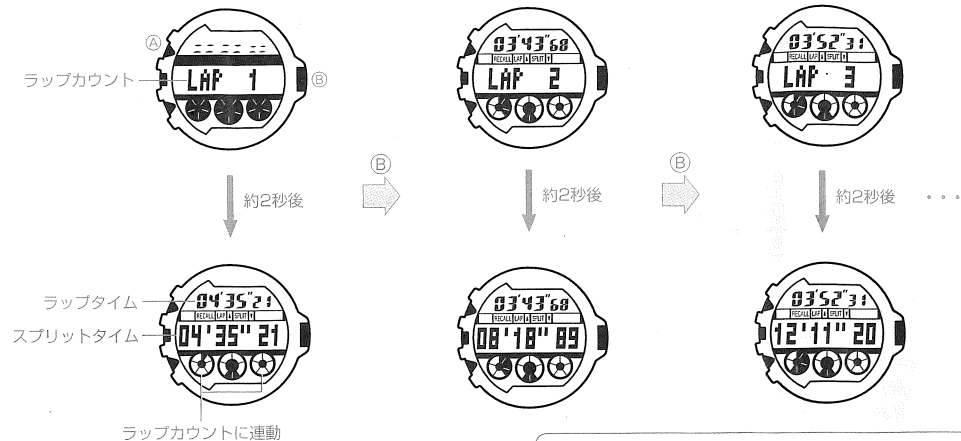
※計測中に Ⓒボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたデータを見ることができます。

メモリーについて

- ラップ・スプリットタイムは最大30本までメモリーでき、30本を超えると1ラップのタイムを消去して、新たなラップタイムをメモリーします。
※最終ラップ/スプリットカウントは30となります。
- メモリーしたデータは、ストップウォッチモードでリセット後、新規計測をスタートしたときに消去されます。

■ メモリーしたデータを見る

メモリーしたデータはリコールモードで見ます。
メモリーリコールモードでⒷボタンを押すごとにメモリー順に表示します。



● メモリーしたデータの消去

ストップウォッチの計測がストップしているときに、メモリーリコールモードでⒶボタンを約2秒間押し続けます。

タイマーの使い方

タイマーは秒単位で59分59秒までセットでき、セットした時間を経過（タイムアップ）すると10秒間の電子音が鳴ります。

また、タイマーは2つあり、交互に繰り返して（10回）計測することもできます。

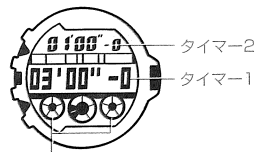
■ 計測の種類

● 単独計測

タイマー1またはタイマー2のいずれかをセットします。
※使わないタイマーは00分00秒にセットしてください。

● 連続計測

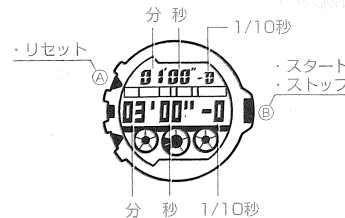
タイマー1およびタイマー2の両方をセットします。タイマー1の計測終了後、自動的にタイマー2の計測に移ります。
タイマー1およびタイマー2のタイムアップ後も、ストップするまで自動的に10回繰り返し計測します。
※計測時間が10秒以内のときは1秒間鳴ります。



1/10秒に連動

■ 計測のしかた

- Ⓑボタンを押すごとに計測がスタート/ストップします。
※ロスタイムがあるときは、計測中にⒷボタンを押してストップ後、もう一度Ⓑボタンを押します。
- 計測がストップしているときにⒶボタンを押すと、リセットされます。



- 鳴っている電子音を止めるにはいずれかのボタンを押します。

■ タイマー時間のセット

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

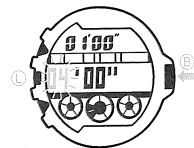
→ タイマー1の「分」が点滅します。



2. セットする

Ⓑ ボタンまたはⒻ ボタンを押します

→ Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓕ ボタン押すごとに1つずつ戻ります。

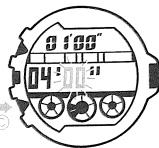
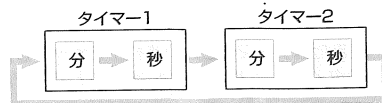


※押し続けると早送りができます。

3. セット箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

→ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。



Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑ ボタンまたはⒻ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※セットしないときは、「00' 00"」に合わせます。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※タイマー1を「0' 00"」にセットしたときは、タイマー1とタイマー2を入れ替えます。

※セット状態で表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラームの使い方

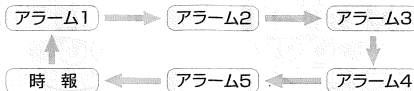
アラームは1分単位でセットでき、セット時刻になると20秒間の電子音で知らせてくれます。アラームは5本あり、いずれも同じ使い方ができます。また、毎正時(00分)に電子音で時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

1. アラームを選ぶ

Ⓑ ボタンを押します

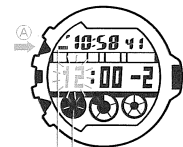
→ Ⓑ ボタンを押すごとにアラームと時報が以下の順に切り替わります。



2. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

→ 「時」が点滅し、アラームONマークが点灯します。



アラームONマーク

3. セットする

Ⓑ ボタンまたはⒻ ボタンを押します

→ Ⓑ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓕ ボタン押すごとに1つずつ戻ります。

※押し続けると早送りができます。



4. セット箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

→ Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動します。



㊸ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、㊸ ボタンまたは㊹ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

※時のセットのとき、午前/午後(P)にご注意ください。

※時刻モードの現在時刻を24時間制表示にしているときは、アラームのセット時刻も24時間制表示になります。

5. セットを終了する

㊸ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※セット状態で表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

● 鳴っている電子音を止めるにはいずれかのボタンを押します。

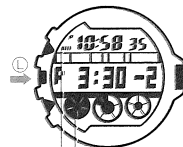
■ デモアラーム

アラームモードで㊹ ボタンを押している間、アラーム音が鳴ります。

■ アラーム・時報のオン/オフ

- アラームモードで㊸ ボタンを押してオン/オフしたいアラーム表示または時報表示を選びます。
- ㊹ ボタンを押すごとにアラーム ON マークまたは時報 ON マークが点灯/不点灯して、オンとオフが切り替わります。

<アラーム表示>



アラームONマーク

<時報表示>



時報ONマーク

時刻・カレンダーの合わせ方

■ 秒の合わせ方 ~ 30秒以内の遅れ/進みの修正~

月に1度くらいこの「秒合わせ」を行なっていただくと、時計はいつも正確です。

1. セット状態にする

㊸ ボタンを約2秒間押し続けます

→ 「秒」が点滅します。



2. 秒を合わせる

㊸ ボタンを押します



3. セットを終了する

㊸ ボタンを押します

→ 点滅が止まります。

※セット状態で表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

「秒」が00~29秒のときは切り捨てられ、30~59秒のときは1分繰り上がって「00秒」になります。

※時報は「時報サービス 電話117番」が便利です。

■時刻・カレンダーの合わせ方

1. セット状態にする

Ⓐ ボタンを約2秒間押し続けます

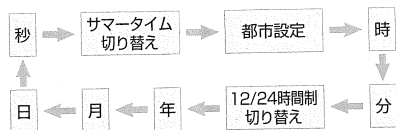
⇒「秒」が点滅します。



2. セット箇所を切り替える

Ⓒ ボタンを押します

⇒Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順に移動します。



3. セットする

Ⓑ ボタンまたはⒹ ボタンを押します



Ⓒ ボタンを押してセットしたい箇所を点滅させ、Ⓑ ボタンまたはⒹ ボタンを押してセットする操作を繰り返します。

- 都市設定・時・分・年・月・日のときは、点滅箇所がⒷ ボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓓ ボタンを押すごとに1つずつ戻ります。

※押し続けると早送りができます。

- サマータイム切り替え・12/24時間制切り替えは、Ⓑ ボタンを押すごとに切り替わります。

※時のセットのとき、午前/午後(P)および24時間制にご注意ください。

※年は西暦で1995~2039年までセットできます。

※曜日は年月日を合わせると自動的にセットされます。

※都市設定で表示される都市コードについては11ページの「ワールドタイム都市コード一覧」をご覧ください。

4. セットを終了する

Ⓐ ボタンを押します

⇒点滅が止まります。

※セット状態で表示を点滅させたまま2~3分すると、自動的に点滅が止まります。

●都市設定について

都市設定を間違えると、ワールドタイムモードで表示される各都市の標準時も違ってきますので、ご注意ください。

例) 日本で合わせるときは「TYO」にします。

●サマータイムについて

サマータイムとはDST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から1時間進める夏時間制度のことです。

サマータイムの採用時期は各都市により異なりますし、採用していない都市もありますのでご注意ください。

製品仕様

水晶発振周波数: 32.768Hz

精度: 平均月差±15秒以内

基本機能: 月・日・曜日・時・分・秒・午前(A)/午後(P)/24時間制表示
フルオートカレンダー (1995～2039年)

ワールドタイム機能: 27都市29タイムゾーン
時・分・秒 (秒は基本時刻と連動)
サマータイム切り替え機能付

ストップウォッチ機能: 計測単位=1/100秒
計測範囲=59分59秒99(60分計)
通常計測、積算計測、ラップ・スプリット計測
ラップ・スプリットメモリー=最大30本

タイマー機能: 減算タイマー (2本)
セット単位=1秒
計測単位=1秒
計測範囲=59分59秒
通常計測、ロスタイム計測
単独計測/連続計測機能 (10回)

アラーム機能: 時刻アラーム5本
セット単位=分 電子音=20秒間
時報 毎正時に2回電子音で報時

セット機能: 時刻・カレンダーセット機能、秒合わせ機能 (±30秒アジャスト)、アラームセット機能

その他: 自動復帰機能、デモアラーム、12/24時間制表示切り替え、ELバックライト、ELオートライト

主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI

使用温度範囲: -10℃～60℃

使用電池: CR-1616 (電池別途販売)

電池寿命: 約2年

(1日あたり
ライト4秒、電子音20秒使用
した場合)

※ただし、ライトの使用条件により電池寿命が短くなります。

1日あたり
ライト6秒、電子音20秒使用した場合
約1.8年
ライト8秒、電子音20秒使用した場合
約1.5年

ご使用上の注意

■防水性

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキダイビング (素潜り)	×	×	○	○

※「BAR」は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水=スキューバダイビング (アクアラング) でのご使用はお避けください。

●表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの。

汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。

●防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。

●防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。

●海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。

●防水性を保つために定期的 (2～3年を目安に) なパッキン交換をおすすめします。

●電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)

●防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態では、水仕事・水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

■バンド

●バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
●樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。

●樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単に拭き取ることができます。

■温度

●自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。

●+60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

■ショック

- 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い衝撃を受けても時計には影響ありません。
- 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。

■磁気

- 時計機能に影響はありませんが、本機自体が磁気を帯びますと、オートライトが作動しにくくなる場合がありますのでご注意ください。

■薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

■保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと、数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■抗菌防臭バンドについて

抗菌防臭バンドは汗などによる細菌の増殖を抑え、匂いの発生を防ぎ、常に清潔で快適な装着感が得られます。抗菌・防臭の効果を上げるために、バンドの汚れ、汗、水分等は吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にしてご使用ください。抗菌防臭バンドは微生物や細菌の増殖を抑えるためのもので、アレルギー等による皮膚のかぶれ等を抑えるものではありません。

お手入れについて

■お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

■お手入れを怠ると

- 「サビ」
 - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
 - ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
 - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
 - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気が多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
 - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れをするか、金属バンドのご使用をおすすめします。
 - 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。

電池交換について

■最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
- ※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
- ※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

■消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

■電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行いません。（防水検査は別途有料となります）

万一、本機使用により生じた損害、逸失利益または第三者からのいかなる請求についても、当社では一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。